

# SBPで日本にいい風をふかせよう

~未来の大人の伸びしろは、  
日本の伸びしろだ！~

一般社団法人 未来の大人応援プロジェクト

岸川 晃大

# 自己紹介

---

岸川 晃大（きしかわ あきひろ）

出身：三重県多気町

経歴：三重高校→神戸大学（専攻：スポーツ科学）

→就職：（株）百五銀行（法人営業）2013～

→転職：（一社）未来の大人応援プロジェクト 2019～

→入学：グロービス経営大学院（2022卒業）

→兼務：皇學館大学 2023～

三重大学 2025～ 予定

# SBPを立ち上げたきっかけについて

## ① SBPとは

- ・ 「Social Business Project」の略語。
- ・ 地域の課題を若者が中心となり、地域にあるもの（人、歴史、文化、産業、名所、特産など）ビジネスの手法を用いて解決する取組。
- ・ 現在、日本中で100校（団体）以上が取り組んでいる。

## ② 三重県立相可高校での高校生レストランの立上げ

- ・ 父と地元の高中生との出会い
- ・ 高校生が成長→応援する大人も成長→地域が元気に！

⇒このモデルを日本中で増やそう



# 高校生レストラン「まごの店」



# 未来の大人応援プロジェクトの活動について

## ① 組織

- ・ 社員5名（うちプロパー2名）
- ・ 理事、パートナー（個人・企業）・同志は全国に多数。

## ② ビジネスモデル

- ・ 全国の都道府県、市町村、教育委員会等の委託業務 85%
  - ・ 民間企業との委託業務（企業協賛含む） 10%
  - ・ その他（学校での講演会、行政への研修会等） 5%
- ⇒ 補助金には頼らない組織運営

## ③ 事業展開

- ・ SBPの浸透  
スタートアップ、民間企業と連携した事業、SBP教材事業
- ・ 未来の大人が輝くことのできるステージの創出（独自プロジェクト）  
全国高校生SBP交流フェア・1億円プロジェクトほか（独自事業）

# 企業の理念（ミッション）

世界中にいい風を吹かそう！



未来の大人の  
自己肯定感を高める！

現在の大人にも  
いい影響を与える！

地域を元気に！



将来を担う「未来の大人(小中高大学生)」が輝く  
ことのできるステージ（機会）を創出する

# 事例紹介①「愛知県立高浜高校のSBP」

---

高校生が2つの地域産業を結び付けて

**B TO B の SBP !**

# 事例紹介①「愛知県立高浜高校のSBP」

## ・ SBP始動！

A) 地元の伝統産業の三州瓦・・・ 鬼師

B) トヨタの関連企業・・・

トヨタ レクサスのエンジン部品金型製造工場

⇒A + B = オリジナルの金型を創り出す仕組みを構築

# 事例紹介① 「愛知県立高浜高校のSBP」

## ・製造した金型

### 岐阜県

みちまるくん焼き(仮称)

中日本高速道路株式会社様が岐阜県の高校生を応援することで、地域の魅力を発信することを目指しています。



### 三重県

タイミー焼き(南伊勢高校)

Sの絆焼きを考案した三重県立南伊勢高校のタイミー焼き。生地には地域の特産物であるアオサ等を混ぜています。



### 三重県

まごお焼き(相可高校)

高校生レストランを運営している三重県立相可高校調理クラブのまごお焼き。調理したお芋を餡子にしてたり、焼き上げたものを油であげています。



### 愛知県

Sの絆焼き(高浜高校)

全国の高校生たちが使用するSの絆焼きを製作している愛知県立高浜高校。生地には抹茶を混ぜています。



# 事例紹介① 「愛知県立高浜高校のSBP」

## ・製造した金型

### 北海道

(かずもちゃん焼)

かずのこで有名な留萌市のキャラクターをモチーフにした「かずもちゃん焼」。餡子とリンゴジャムの2種類の味があります。



### 青森県

メバ焼き(中里高校)

町の特産品である津軽海峡メバルをかたどった「メバ焼き」を作成し地元のPRを行っています。



### 青森県

カ士くんおやき(鯉ヶ沢高校)

ハンバーグ入りおやきなど高校生たちの独創的アイデアで中身が考えられています。



### 青森県

マグロ焼き(木造高校)

地域資源を生かした様々な活動を展開し、深浦町の魅力を全国に発信しています。



## 事例紹介① 「愛知県立高浜高校のSBP」

長野県高森町  
柿丸くん焼き



# 事例紹介①「愛知県立高浜高校のSBP」

**【発展的な取組】**      \* 文部科学大臣賞を受賞

## ◎ キーワード

i) シーホース三河（プロバスケットチーム）

タツオくん焼き

ii) ハンディキャップのある子供たちへの

NPO法人 おひさま

NPO法人 玉絆（たまきずな）

## 事例紹介①「愛知県立高浜高校のSBP」

### i) シーホース三河（プロバスケットチーム）

★三河の広報担当から、絆焼き型製作の問い合わせ

（高浜高校） ⇒ 費用が130万程度かかることを返答

（シーホース） ⇒ 予算オーバーのため断念

（高浜高校） ⇒ ★そこで、次の3つの提案

# 事例紹介①「愛知県立高浜高校のSBP」

## i) シーホース三河      タツオくん焼き

(高浜高校) ⇒ **★3つのWinを提案!**

ア) **高浜高校SBP部で金型を製作する**

イ) **完成したら、試合会場で販売させてほしい**

ウ) **販売で得た利益で、地域の子供たちを試合に招待**

**これは、どういうこと???**

# 事例紹介①「愛知県立高浜高校のSBP」

i) シーホース三河（プロバスケットチーム）

◎企業側からいうと ⇒ **★3つのWinを提案された**

ア) **浜高校SBP部で金型を製作する** (高校：絆焼きの普及)

⇒ 無料で作ってもらえる！

イ) **完成したら、試合会場で販売させてほしい** (高校：社会経験、PR)

⇒ 販売の人員コストがなくなり嬉しい！

高校生が販売することで活気が出て嬉しい！

ウ) **販売利益で、地域の子供たちを試合に招待する** (高校：地域貢献)

⇒ チケット販売までしてくれる！

# 事例紹介①「愛知県立高浜高校のSBP」

## 【シーホース三河の対応】

①高浜市とスポーツ提携を結ぶ。

地域の子供たちに無料でバスケットの指導を行う。

②高浜高校に保温器等の機材を提供。

**★地域とより密着した活動を展開！**

**プラスのスパイラル！**

## 事例紹介②「マツノイズムプロジェクト」

### ・ 愛媛県松野町について

愛媛県の西南部に位置し、高知県と境を接する山間の町。

町土の84%を森林が占めている。

人口：3,649人（令和5年3月末時点）

#### 【資源】

観光：溪谷、棚田（自然系）、天然ウナギ

産業：農業（米、桃など）

教育：小学校2校、中学校1校、高校なし

有名人：芝大輔（モグラライダー ツッコミ）

# 事例紹介② 「マツノイズムプロジェクト」

・ SBP活動開始

活動スタート（2022年4月～）

・ 5月20日

音楽祭イベントの復活

**入場無料**  
\投げ銭、募集しています！/  
投げ銭千円以上  
いただいた方には  
ロゴ入りステッカー  
プレゼント！ ※先着五十名  
※集まった投げ銭は、  
今後のライブの費用に  
使わせていただきます。

主催  
私たち立  
#マツノイズム  
MATSUNOISM  
高校

高校生による  
出店あり！  
ドリンク  
ポップコーン  
フランクフルト  
わたがし  
道の駅虹の森公園まつの  
軽食  
あります！

第1回

地元高校生が企画・運営！

森の国の  
音楽祭  
Matsunokuni Music Festival

音楽は私たちが豊かにする。  
音楽は私たちを救ってくれる。  
そんな音楽を「森の国」で。  
森の国の音楽祭の日の出です。

私たち立#マツノイズム高校とは  
松野町の高校生が集い、まを元気にする  
「まちづくり学校」です。  
「マツノイズム」とは、EYE（主催・主催）を  
マツノの音屋につけた造語で、  
松野の暮らしや伝統・文化を表しています。  
私たちは、マツノイズムを世界に発信します！

最新情報は  
こちらから

\#マツノイズム、発信中！/  
公式SNSやってます！

ぜひフォロー&いいね！お願いします！

2022  
10.23 SUN.  
11:00～15:00  
道の駅「虹の森公園まつの」

※雨天時  
役場横コミュニティセンター  
最新の情報は公式SNSにて！

総勢9組の伊予と土佐の  
音楽好きが集合！

出演アーティスト（出演順）  
HIGH-MAID（バンド）  
津軽三味線 愛媛 剛興会（演奏）  
SakeN（弾き語り）  
Soniq SindLoR（バンド）  
ソクセキーズ（バンド）  
ダンスチーム広蓮（ダンス）  
ゆずの香り（バンド）  
有馬拓郎（演奏）  
谷口天花（歌）

## 事例紹介② 「マツノイズムプロジェクト」

・ 6月18日

夏祭り運営支援

「森の国まつりの2023」



# 事例紹介② 「マツノイズムプロジェクト」

## ・ SBP活動開始

### 活動スタート

地域のイベントの企画運営などを通し、実績作り&知名度UP

⇒ 2023年3月23日に法人設立

### 「一般社団法人マツノイズムプロジェクト」



## 事例紹介② 「マツノイズムプロジェクト」

### ・ SBP活動開始

新たな活動に向けて

課題：（SBP）現在の活動では収益を生んでいない。

（町） 税金を増やしたい、ふるさと納税が振るわない

⇒そこで 「ふるさと納税の仕組み」 を利用して収益を得る

仕組みを構築しようとする。

## 事例紹介③「企業との連携事業」

### ・ 民間企業とSBPの関わり

○企業からの相談 . . . IXホールディングス株式会社

「おにぎりせんべい」などで有名な伊勢市の企業から

⇒ 「伊勢志摩地域の未来を考え、何か貢献したい」と相談

○当社団からの提案 . . . (一社) 未来の大人応援プロジェクト

人材育成を軸に県内の10～20代の若者（Z世代）を集め、

地域の未来を考える仕組の企画・運営を提案

**「IXコミュニティ」を2023年9月に設立！**

# 事例紹介③ 「企業との連携事業」

## ・活動概要

○毎月1回リアルに集まり勉強会を開催

講師を招き講演会や、グループディスカッション



# 事例紹介③ 「企業との連携事業」

## ・活動概要

○興味のあるテーマに分かれてグループを組み、

オンライン会議やフィールドワークを実施

初年度は「農業・漁業」「観光」「福祉」

「マルシェの企画運営」「ワインぶどう」の5グループ



## 事例紹介③ 「企業との連携事業」

### ・活動概要

○アウトプットの場として

「マルシェイベントの開催」 「全国高校生SBP交流フェア」



## 事例紹介③ 「企業との連携事業」

### ・提供価値

参加する若者

成長、地域を知る、地域の大人と繋がる

地域の大人・周りの企業

地域の若者を応援

### IXホールディングス(協働企業)

- ・地域の大人・周りの企業と共通目標で繋がる⇒広い意味の顧客獲得
- ・若者とのつながりができる(若者のトレンド、考え方)
- ・社員の働きがいや社員育成に効果あり(見本にならなければいけないという使命感)
- ・将来、地域で働く人材の育成ができる
  - ⇒直接的: 自社での採用(即戦力)
  - ⇒間接的: 自社のパートナーや顧客としての関わり

## 事例紹介④「伊勢市での新事業」

### ・伊勢市

#### ○農林水産課の課題

- ・ 1次産業（農業、漁業）にまつわる課題が多い

→若者離れ、担い手不足

- ・ 課題解決に手が回らない

➡市内の10～20代で検討会を組織し、お悩み解決部隊を構築！

募集→フィールドワーク→市へのプレゼン→プロジェクト化

3ヶ年計画で最終的には行政で自走できるように！

# まとめ

## よくある問い

### ①地域課題（宝）の見つけ方

新しいものつくるのではなく、今あるものに光を当てる。徹底的に洗い出す。

➡それらを組み合わせることでイノベーション（新しい価値）が生まれる。

### ②仕組みを作るうえでの人の巻き込み方

- ・キーマンをおさえる
- ・理と情で口説きおとす
- ・未来の大人が主役。それを応援する大人たちという構図。

# まとめ

## よくある問い

- ③生徒・住民・地域の変容の指標について  
地域活性化の定義とは？  
定量的な評価とは？

➡できない理由を挙げるのではなく  
どうすればできるかを考える

# ご清聴ありがとうございました！

第9回 全国高校生SBP交流フェア

～学生が学生による学生のための事業～

